

おわりに

この冊子では、放射線や放射能を“できるだけ身近な情報でわかりやすく”説明することをめざしました。そのため放射性同位元素から出る放射線や医療放射線などを中心に話を進めました。物質の構造の話もせいぜい陽子や中性子といった核子のレベルにとどめてあります。

ですから、原子炉や加速器などで作られる特殊な放射線や、非常に高いエネルギーを持った放射線についてはほとんどふれていません。また、これらが引き起こす原子核反応など興味深い多くの現象は割愛しました。

この冊子を読んで、もっと詳しく知りたいと思われる方は巻末にあげた参考文献やもう少し専門の本を参考にしてください。

今後、皆さんが放射線・放射能といった言葉を耳にされた時、この小冊子の内容が少しでもお役にたてば幸いです。また、できるだけやさしく正確にと心がけたつもりですが、不十分なところも多々あります。遠慮なくご意見やご批判をお寄せ下さい。

